

No	140	事務事業評価票		所管部長等名	教育部長 北岡 博		
				所管課・係名	博物館未来の森ミュージアム 学芸係		
				課長名	有田俊二		
評価対象年度	平成23年度		(Plan) 事務事業の計画				
事務事業名	博物館、厚生会館、埋蔵文化財収蔵施設等の改修(博物館)			「主たる事業の執行状況調」における件名又は事業名			
会計区分	一般会計						
予算の事業名	一般事務経費		博物館施設整備事業				
事業コード(大-中-小)	44	02	01	44	01	36	
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)		第2章 郷土を拓く人を育むまち				
	施策の大綱(節)【政策】		④文化のかおり高いまちづくり				
	施策の展開(項)【施策】		①伝統の継承・活用と八代の文化の創造				
	具体的な施策と内容		(3)文化施設の充実				
根拠法令、要綱等	建築物における衛生的環境の確保に関する法律、八代市立博物館未来の森ミュージアム条例施行規則						
実施手法 (該当欄を●)	● 全部直営		○ 一部委託		○ 全部委託		法令による実施義務 (該当欄を●)
	○ その他()						● 義務である ○ 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前		終了年度	未定		

(Do) 事務事業の実施									
事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)						
	内容 (手段、手法等)	博物館の屋内外施設(建物本体、空調機等の設備)	貴重な美術工芸品や歴史資料等を安全に保管・収蔵するとともに、市民並びに一般来館者が常に安全かつ快適に施設を利用できるように整備する。						
事業開始時点からこれまでの状況変化等	①日常点検により補修の必要性が認められたり、突然の故障・破損が発生した箇所については、早急に適切な補修等を実施し、施設の良好な維持管理に努める。 ②大規模な改修が見込まれる案件については、中・長期的な改修計画に基づき改修事業を実施する。								
事業開始時点からこれまでの状況変化等									
コスト・成果指標の推移									
コスト	総事業費	単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
	事業費(直接経費)	千円	4,083	3,998	4,430	7,965	5,512	7,540	
	財源内訳	国・県支出金	千円	1,633	988	1,000	4,465	2,012	4,040
		使用料・手数料	千円	814	0	0	0	0	0
		市債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他(入館料、図録販売)	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
概算人件費(正規職員)	千円	819	988	1,000	4,465	2,012	4,040		
正規職員	従事者数	人	2,450	3,010	3,430	3,500	3,500	3,500	
臨時職員等従事者数	人	0.35	0.43	0.49	0.50	0.50	0.50		
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	①								
	②								
	(記述欄)※数値化できない場合								
	建物本体および内部機器類の経年劣化による破損や不具合が一斉に現れはじめる時期を迎えており、突発的な対処を求められることが少なくない。現状では、補修・改修を要する箇所の全体の把握も十分とはいえない状態にあり、指標の設定・数値化はきわめて困難な状況にある。								

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) ○市民に安全かつ快適に博物館を利用していただくために、施設の 適切な維持管理を行うことは、八代市総合計画の具体的な施策である 「文化施設の充実」と結びついている。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	A ○博物館の利用者には、より快適な施設環境の中で芸術文化を鑑 賞し、同時に文化活動の成果を発表したいという欲求があるため、き わめて必要性の高い事業である。
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です か(国・県・民間と競合していません か)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A ○施設の補修・改修は、来館者の安全を確保するためにも、施設管 理者である市が主体となって取り組む事業である。
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B (現状分析等) ○小規模な補修・改修については、対症的に処置を行い、一定 の維持管理に努めているものの、大規模な改修については、学校等 の耐震改修が優先されていることから、財源の確保が難しく計画が 順調に進んでいない状況である。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B ○経年劣化に伴い大規模な改修が必要な箇所が数多く見受けられ ることから、緊急性の高い箇所については、建設計画を前倒して実 施する必要がある。
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A (現状分析等) ○機器の保守点検は民間に委託しているものの、補修や改修につ いては、臨機応変な対応が求められることから、委託することはでき ない。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A ○単独の施設である博物館においては、他の改修事業等との統合・ 連携は考えられない。
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A ○簡易な修理(電球交換等)については、コントロール技師(委託)が 対応しているが、難易な補修・改修は、専門の業者に依頼するしか 方法がないことから、人件費の削減には繋がっていない。
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A ○博物館の利用者から観覧料や貸会場の施設利用料を徴収してい るため、施設の補修・改修に要する経費まで新たな負担を求めるこ とはできない。

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 日常の点検・補修により、市民並びに一般来館者に対し、安全で快適な博物館施設を提供す ることに努めているが、今後は、経年劣化が進んでいる建物本体及び設備の両面にわたる大 規模な改修を進め、施設の長期的にわたる維持管理を図る必要がある。																				
	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 博物館は、満20年を経過して経年劣化と思われる箇所が顕著となっており、施設全体の 総合的なメンテナンスが必要な時期を迎えている。そのため、今後は、設備の耐用年数の 問題等も含め、根本的な改修を進めていかなければならない。 これらについては、施設管理部門(教育施設課)と連携を取りながら、計画的かつ集中的 に実施することが望ましく、そうすることによって施設本体や機器等の耐用年数も伸びるこ ととなり、結果的には経費の削減にも繋がる。	改革改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td align="center">○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

外部評価の実施	無	実施年度
---------	---	------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------